

推薦のことば

近年、リハビリテーション医学・看護学は体系化され発展してきました。

リハビリテーション医療においては、多職種による共有の目標達成に向けたチームアプローチが展開され、その中でリハビリテーション看護は独自の専門性を発揮します。病や障害を持ちながら「生活する人」としての尊厳を守り、その人らしく生きることを支援しつつQOLを高めていくことをめざすリハビリテーション看護の最新案内版として、「見て知るリハビリテーション看護」DVD全10巻が完成しました。

現在、リハビリテーション看護の教育・研究・実践の場で活躍中の看護職によって監修され、大変分かりやすく臨場感あふれる視聴覚教材となっています。

大学や専門学校の看護基礎教育をはじめ、新人看護師教育や臨床の最前線における現任看護師のフォローアップ研修に最適な教材として推薦いたします。



NPO 法人 日本リハビリテーション看護学会 理事長 松田 百合子

監修によせて

見て知るリハビリテーション看護 DVD 全10巻は、日本におけるリハビリテーション看護学の教育研究者・多様なリハビリテーションの場で活躍している看護実践者の力を結集して制作しました。体系的で理論的、かつ実践的な内容となっています。

リハビリテーションとは多様な職種がチームでアプローチをすることに特徴がありますが、看護職はリハチームのなかで、特有の専門性を発揮します。その特有の専門性とは何か、ということが、このシリーズでは、一貫して述べられています。

第1巻のリハビリテーション看護概論、第2巻のリハビリテーション看護とチームアプローチは、リハビリテーションの理念と方法論を理解するのを助けます。第3巻から10巻まではそれぞれ摂食嚥下機能障害、運動機能障害、排泄機能障害、高次脳機能障害・失語症、脳卒中急性期、脊髄損傷、大腿骨近位部骨折、身体障害児・発達障害児と具体的なリハビリテーション看護についての理解を助けるでしょう。



千葉大学大学院看護学研究科 教授 酒井 郁子



セット 本体価格 ¥280,000 + 消費税
各 巻 本体価格 ¥ 28,000 + 消費税

撮影協力病院・施設

横浜市総合リハビリテーションセンター、埼玉協同病院、愛知県立大学看護学部、NTT東日本伊豆病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター、国立障害者リハビリテーションセンター病院、国立障害者リハビリテーションセンター研究所、メディカル・デザイン・スタジオ、東京湾岸リハビリテーション病院、キッコーマン総合病院（以上、掲出順）

著作権処理済作品 ●このDVDは、授業使用及び学校図書館、公共図書館、視聴覚ライブラリー、企業等々での無償上映・館外貸出権をクリアしています。
●このディスクを権利者に無断で、複製（異なるテレビジョン方式を含む）、放送（無線、有線）、レンタルなどに使用することは法律で禁止されています。

発行：丸善出版株式会社 映像メディア部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-17

神田神保町ビル 6階

Tel : 03-3512-3252 Fax : 03-3512-3271
<http://pub.maruzen.co.jp/>

お問合せ・ご注文は下記までお願いします。

見て知る リハビリテーション 看護

総監修 ●酒井 郁子 ●千葉大学 大学院看護学研究科 看護システム管理学 教授

制作・著作 ●丸善出版株式会社

全10巻

セット 本体価格 ¥280,000 + 消費税
各 巻 本体価格 ¥ 28,000 + 消費税



- 第1巻 リハビリテーション看護概論
- 第2巻 リハビリテーション看護とチームアプローチ
- 第3巻 摂食嚥下障害のリハビリテーション看護
- 第4巻 運動機能障害のリハビリテーション看護
- 第5巻 排泄機能障害のリハビリテーション看護
- 第6巻 高次脳機能障害・失語症のリハビリテーション看護
- 第7巻 脳卒中急性期のリハビリテーション看護
- 第8巻 脊髄損傷のリハビリテーション看護
- 第9巻 大腿骨近位部骨折のリハビリテーション看護
- 第10巻 身体障害児・発達障害児のリハビリテーション看護

看護師がリハビリテーションスタッフと連携して実践する、多様な生活機能障害への援助技術の決定版 DVD！

第1巻 リハビリテーション看護概論 34分

監修・酒井 郁子・千葉大学大学院看護学研究科 教授
附属専門職連携教育研究センター センター長

この巻では、リハビリテーションの概念やリハビリテーションにおける看護師の専門性について解説します。また、生活機能分類と生活機能障害について学習するとともに、発達段階に応じたリハビリテーション看護の考え方を解説します。

リハビリテーションを受ける人の回復過程を、急性期・回復期・生活期を通して見てゆきます。

第2巻 リハビリテーション看護とチームアプローチ 33分

監修・大塚 真理子・千葉大学大学院看護学研究科附属専門職連携教育研究センター 特任教授
監修協力・小野寺 由美子・埼玉協同病院 副看護部長

チームアプローチの必要性と専門職連携実践（IPW）の考え方とその実際を、急性期・回復期にわたる専門職の役割と機能を中心に見てゆきます。病弱な北島友子さん（73歳）を自宅で介護する夫の靖さん（75歳）は自らも大腸がんの手術のために、友子さんが短期で入院することになった病院へ、入院して来ました。この特殊なケースについての連携カンファレンスの実際を見てゆきます。

第3巻 摂食嚥下障害のリハビリテーション看護 41分

監修・鎌倉 やよい・愛知県立大学 副学長／看護学部 教授

CT検査の結果、左視床出血と診断され、緊急入院した70歳の高田洋子さんは、初期治療を経て、立位訓練を開始しましたが、摂食嚥下障害が認められます。摂食嚥下のメカニズム、病態生理からアセスメントを解説するとともに、実際の口腔ケアや摂食嚥下訓練の仕方までを詳しく見てゆきます。

第4巻 運動機能障害のリハビリテーション看護 40分

監修・塩田 美佐代・NTT東日本伊豆病院 看護部長

この巻では、リハビリテーション看護の中でも、特に回復期の運動機能障害に絞って解説します。まず看護師が知っておくべき運動機能のメカニズムを理解したうえで、さまざまな運動機能障害について学び、実際の患者の生活の流れの中で行うアセスメントやリハビリ支援を見てゆきます。

第5巻 排泄機能障害のリハビリテーション看護 40分

監修・辻村 真由子・千葉大学大学院看護学研究科 生活創成看護学 准教授

脳梗塞を発症し片麻痺となった高橋麻里子さん（70歳）は、回復期リハビリテーション病棟をもつ病院に車椅子に乗って転院してきました。しかし、高橋さんは尿を漏らしてしまいショックを隠せません。この巻では、排泄のプロセスと、排泄機能障害について詳説するとともに、排尿障害に対するリハビリテーションを詳しく見てゆきます。

- ① プロローグ (1分56秒)
- ② リハビリテーション看護とは (2分19秒)
- ③ リハビリテーションにおける看護師の専門性 (9分)
- ④ 生活機能分類と生活機能障害 (4分52秒)
- ⑤ 発達段階に応じたリハビリテーション看護の考え方 (2分49秒)
- ⑥ 回復過程とリハビリテーション看護 (5分)
- ⑦ 地域リハビリテーションの理念 (6分51秒)
- ⑧ エンディング (1分35秒)



第6巻 高次脳機能障害・失語症のリハビリテーション看護 31分

監修・栗生田 友子・国立障害者リハビリテーションセンター病院 看護部長

脳卒中により高次脳機能障害を発症した男性患者を例に、高次脳機能障害のさまざまな障害（注意障害・記憶障害・遂行機能障害・社会的行動障害）について解説します。また、失語症を発症した女性患者を例に、失語症の病態生理、言語機能評価、言語リハビリテーション等々の実際を見てゆきます。

- ① プロローグ (1分)
- ② 高次脳機能障害とは (1分32秒)
- ③ 高次脳機能障害の症状 (6分29秒)
- ④ 高次脳機能障害のアセスメント (2分47秒)
- ⑤ 認知リハビリテーション (9分25秒)
- ⑥ 失語症とは (3分8秒)
- ⑦ 言語リハビリテーション (3分57秒)
- ⑧ エンディング (2分13秒)



第7巻 脳卒中急性期のリハビリテーション看護 42分

監修・大久保 暢子・聖路加国際大学 看護学部 准教授

この巻では、家族が夫の異変に気づき救急要請し急性期病院に搬送され、心原性脳塞栓症と診断された松中茂（54歳）さんと、突然の意識障害で搬送されてきた昏睡状態の池山孝雄さん（70歳）の二人のケースを取り上げ、脳卒中の病態生理とリハビリテーション看護の実際を詳しく見てゆきます。

- ① プロローグ (2分30秒)
- ② 脳卒中の病態生理 (3分13秒)
- ③ 脳卒中患者にみられる機能障害と廃用症候群 (2分)
- ④ 脳卒中急性期のケアとリハビリテーション看護 (56秒)
- ⑤ 脳卒中急性期のケアとリハビリテーション看護 軽症～中等症患者の場合 (15分51秒)
- ⑥ 脳卒中急性期のケアとリハビリテーション看護 重症患者の場合 (15分43秒)
- ⑦ エンディング (1分22秒)



第8巻 脊髄損傷のリハビリテーション看護 40分

監修・金城 利雄・名桜大学 人間健康学部 学部長／看護学科 教授

27歳の木田大樹さんはスケートボードのジャンプに失敗し、前額部から落下しました。CT検査の結果、第6頸椎の脱臼骨折であることが分かりました。CGを使って脊髄のしくみを分かりやすく解説するとともに、木田さんの急性期から回復期までのリハビリテーション看護の実際を見てゆきます。

- ① プロローグ (1分15秒)
- ② 脊髄損傷とは (9分5秒)
- ③ 頸髄損傷 急性期のリハビリテーション看護 (13分38秒)
- ④ 頸髄損傷 回復期のリハビリテーション看護 (13分50秒)
- ⑤ エンディング (2分10秒)



第9巻 大腿骨近位部骨折のリハビリテーション看護 40分

監修・泉 キヨ子・帝京科学大学 医療科学部 看護学科 学科長／教授

監修協力・堀之内 若名・帝京科学大学 医療科学部 看護学科 講師

大腿骨近位部骨折の病態と原因を最新のデータをもとに解説します。自宅で転倒し、左大腿骨頸部骨折と診断され、大腿骨頭置換術を行うことになった村山みち子さん（80歳）の術前・術後のリハビリテーションを詳しく見てゆきます。また大腿骨近位部骨折で認知症を持つ田中ヤエさん（84歳）の看護についても解説します。

- ① プロローグ (1分50秒)
- ② 大腿骨近位部骨折の病態と原因 (2分7秒)
- ③ 大腿骨頸部骨折の治療 (38秒)
- ④ 大腿骨頸部骨折の術前看護 (10分17秒)
- ⑤ 術後急性期のリハビリテーション看護 (17分48秒)
- ⑥ 大腿骨近位部骨折で認知症を持つ 高齢患者への看護援助 (5分34秒)
- ⑦ エンディング (2分10秒)



第10巻 身体障害児・発達障害児のリハビリテーション看護 35分

監修・荒木 晴子・千葉県千葉リハビリテーションセンター 看護局長

障害のある小児リハビリテーション及び療育には、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・保育士・栄養士・歯科衛生士・技師装具士などさまざまな職種が、小児と家族を中心に目標を共有し、それぞれの専門性を発揮しています。この巻では小児の成長・発達と障害児のリハビリテーションの実際を詳しく見てゆきます。

- ① プロローグ (1分33秒)
- ② 小児の成長・発達 (2分40秒)
- ③ 身体障害児のリハビリテーション看護の考え方 (3分34秒)
- ④ 身体障害児に生じやすい症状・合併症と看護のポイント (12分28秒)
- ⑤ 身体障害児のリハビリテーション看護の実際 (6分)
- ⑥ 発達障害児のリハビリテーション看護 (7分)
- ⑦ エンディング (1分41秒)

